


サムシングホールディングス株式会社 (証券コード:1408) 2015年12月期 第2四半期決算説明会



- ◆会社概要
- ◆沿革(事業内容)
- ◆2015年12月期 第2四半期決算内容
- ◆計画
- ◆トピックス



会社概要

会社名	サムシングホールディングス株式会社 (英文: Something Holdings Co., Ltd.)
事業内容	<ul style="list-style-type: none">• 地盤改良事業• 保証事業• 地盤システム事業• 海外事業• その他の事業(住宅検査など)  証券コード:1408
設立	2000年10月 (株式移転前の前身 株式会社サムシングは1997年6月設立)
資本金	334,860千円 (2015年6月30日現在)
代表者	代表取締役社長 前 俊守
決算期	12月31日
本店所在地	東京都江東区木場1-5-25 深川ギャザリア タワーS棟4F
従業員数	単体 37名 連結 371名 (2015年6月30日現在)
グループ会社数	国内6社、海外4社

SOME THING GROUP サムシングホールディングス(株)

●事業子会社の経営管理・企画・財務 ●新規事業開発

地盤改良事業



(株)サムシング

設立：1997年
資本金：50,000千円

事業内容

戸建住宅から中・大型物件を対象とした地盤調査・地盤改良工事、沈下修正工事

(株)サムシング四国

設立：2009年
資本金：13,000千円
(23%出資)

事業内容

四国地方での地盤調査・改良工事

保証事業



(株)GIR

Something Re.Co.,Ltd.

設立：2000年
資本金：100,000千円

事業内容

地盤保証「THE LAND」や住宅完成保証「住まいるガード」の提供

設立：2001年
資本金：13,000千円

事業内容

キャプティブ事業
(再保険事業)

地盤システム事業



ジオサイン(株)

設立：2008年
資本金：57,500千円

事業内容

独自開発の地盤調査システム(G-Web System)や地盤調査機のレンタル・販売

海外事業

SOMETHING HOLDINGS ASIA PTE. LTD.

設立：2013年
資本金：350,000US\$

事業内容

東南アジア子会社への投資、及び経営管理

SOMETHING VIETNAM CO.,LTD.

設立：2013年
資本金：102,205US\$

事業内容

ベトナム国においての地盤調査・地盤改良工事

NIHON PANEL CO.,LTD.

設立：2014年
資本金：270,952US\$
(51%出資)

事業内容

住宅建材の製造・販売

その他事業



(株)住まいる検査

設立：2008年
資本金：5,000千円

事業内容

新築住宅・中古住宅の検査業務



(株)E-ma

設立：2013年
資本金：10,000千円

事業内容

外構工事

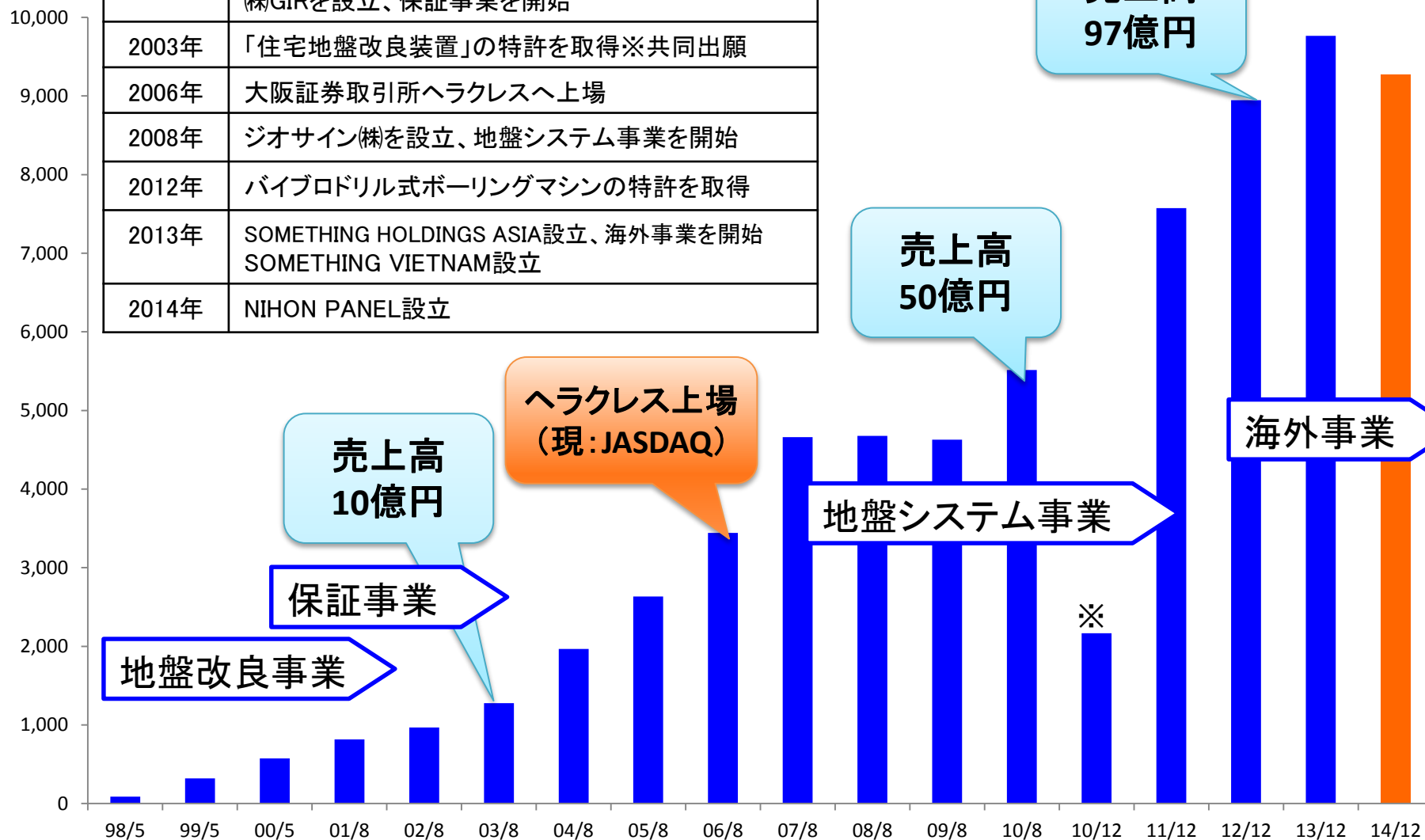
(注)2014年12月期決算短信より、海外事業セグメントを追加しております。



沿革 (事業内容)

売上高推移

1997年	(株)サムシングを設立、地盤改良事業を開始
2000年	サムシングホールディングス(株)設立 (株)GIRを設立、保証事業を開始
2003年	「住宅地盤改良装置」の特許を取得※共同出願
2006年	大阪証券取引所へラクレスへ上場
2008年	ジオサイン(株)を設立、地盤システム事業を開始
2012年	バイプロドリル式ボーリングマシンの特許を取得
2013年	SOMETHING HOLDINGS ASIA設立、海外事業を開始 SOMETHING VIETNAM設立
2014年	NIHON PANEL設立



(単位: 百万円) (年/月期)

※2010年12月期に決算期変更を行っております。

創業精神・ビジョン

「価値創造事業グループ」を目指し、
業界の透明化を実現

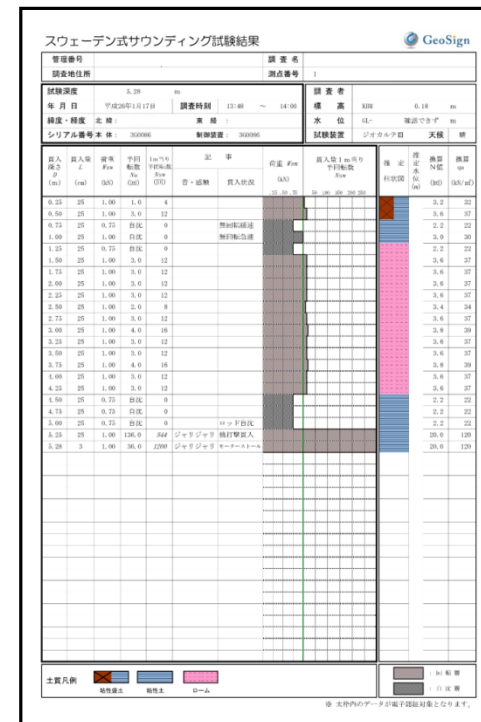
＜業界の課題＞

- 地盤調査・地盤補強に対する透明化が求められている
 - 地盤は目に見えない

＜サムシングの事業＞

- 地盤調査システム「G-Web System」の開発
 - GPS、タイムスタンプなどのITを活用し、地盤調査の透明性を向上

「G-Web System」によって作成された地盤調査結果データ



地盤調査の理念

技術力を武器に地盤の見える化を推進

- 土を細かく調べ、適切な地盤補強を提案
- 知識に裏付けされた地盤技術の強化
 - 学会や大学との連携・共同開発

最も一般的な地盤調査
「スウェーデン式サウンディング試験」



サムシングの強み

- 豊富な実績から培った経験
 - 年間実績3万件以上(2014年度)
- 地盤調査から地盤保証まで、地盤に関するサービスをワンストップで提供
- 低コストから高品質の調査まで、地盤の専門家として対応

地盤改良の理念

地盤事故「0(ゼロ)」を目指す

- 地盤保証ありきではなく、事故を起こさないことを重要視

サムシングの強み

- 管理装置の開発
 - 地盤改良のデータを「見える化」し、お客様へお届け
- 様々な工法を開発し、地盤に合った工法を提案
 - (次ページ)地盤改良工法一覧



NSVコラム工法

攪拌翼の上面からセメントを吐出する工法
建設技術審査証明(BCJ-審査証明-149)

特許
第4072968号
取得



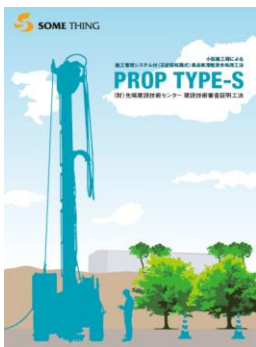
HITSコラム工法

経済的で高品質な柱状改良工法
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第08-03号)



PROP TYPE-S

地盤内に直径1,000mmの柱状改良体を築造する工法
財団法人先端建築技術センター技術審査証明
(技審証第2201号)



DM(ダブルメタル)工法

施工性に優れており、工期が短く、ローコストな工法
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第10-01号)



コラムZ工法

改良径 ϕ 1000,1200を用い、大型物件に対応した工法建築技術性能証明(GBRC性能証明 第12-26号)

改良径 ϕ 600

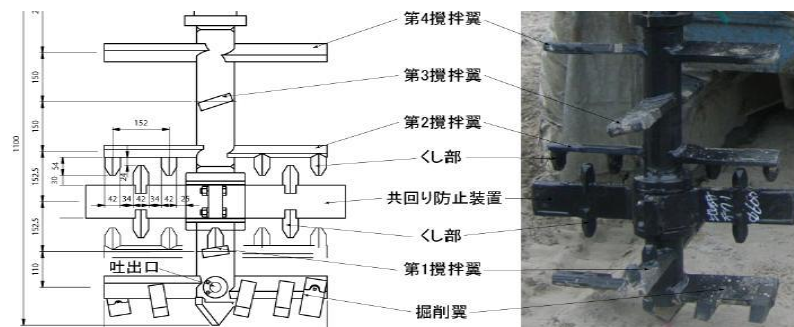
改良径 ϕ 1200

(大きさ比較)



くし兵衛工法

共回り防止翼と攪拌翼に突起を設けた掘削攪拌装置を開発
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第13-03号)



STK-W工法

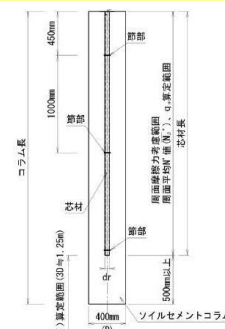
改良体の2本同時掘削攪拌装置により工期短縮を実現
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第12-33号)



しん兵衛工法

改良体と芯体を一体化させることで剛性と耐性の向上を実現
建築技術性能証明(GBRC性能証明 第13-04号)

※鋼管とセメントが一体となった改良体



地盤保証ができた背景

- 瑕疵担保履行法
 - 住宅に不具合が起きた際、施主を守る法律
 - だが、地盤に起因する問題には適用されない

サムシングの地盤保証 「THE LAND」

実績累計
6万棟以上

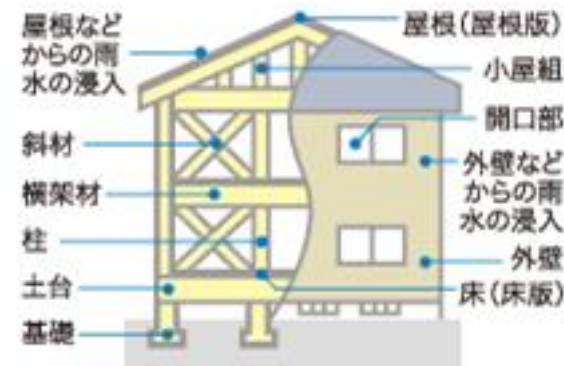
業界初

- ① 地盤も保証範囲に含む
- ② 大手損害保険会社が引受保険会社となる[10年継続P
L保険付地盤保証](#)
- ③ 一物件毎に付保証明書を発行
- ④ 基礎着工日から、住宅完成引渡日より10～30年保証

瑕疵担保責任保険に含まれる部分

木造

在来軸組工法の戸建住宅の例



2階建ての場合の骨組み
(小屋組、軸組、床組)等の構成

株式公開

- 2006年6月大阪証券取引所「ヘラクレス」上場
- 住宅地盤改良を主力とする会社では唯一の上場企業
- 2010年 東京証券取引所「JASDAQ」と「ヘラクレス」が合併し、「JASDAQ」となる

地盤の見える化

地盤調査システム「G-Web System」を 業界のスタンダードへ

- 兼松日産農林とオリックスとの合併会社を設立(ジオサイン株式会社)
- 地盤調査システム「G-Web System」の開発
 - GPS、タイムスタンプなどのITを活用し、地盤調査の透明性を向上



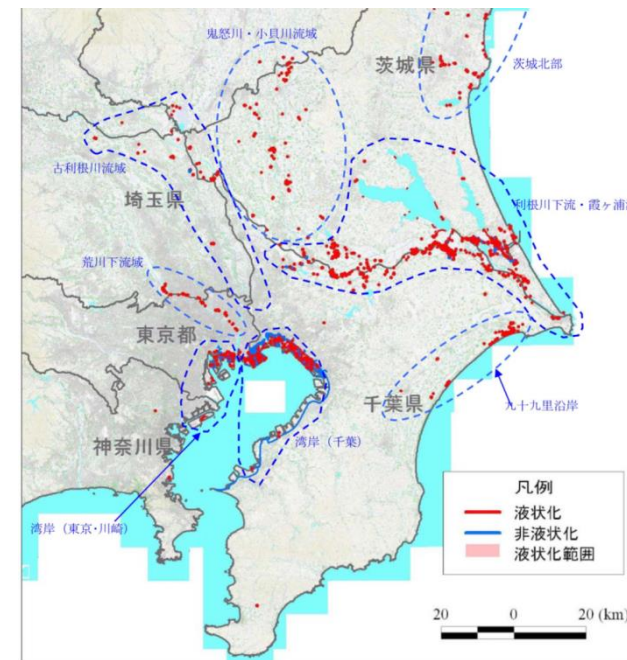
2011年 東日本大震災

- 地盤への関心の高まり
 - 地盤沈下や液状化など、地盤の重要性へ関心が高まる
- 東北地方での復興需要
- 関東地方での液状化現象

サムシングの対応

- 液状化検討が可能な地盤調査機「地盤王ホリ・ススム」の開発
- 液状化対策になる地盤改良「エコジオ工法」の拡販
- 液状化補償のついた地盤保証「THE LAND」の拡販

東日本大震災による液状化発生地域



(出典:公益社団法人 地盤工学会「東北地方太平洋沖地震による関東地方の地盤液状化現象の実態解明」)

日本の技術力をアジアへ

「住宅用外壁材・内壁材の製造・販売」

- 日本の建材メーカーと提携し、コンクリートパネルを製造・販売
- 東南アジアでの販売に加え、日本にも輸入

パネル住宅の施工風景



地震国で培った技術力を地盤が弱いベトナムへ

「地盤調査・改良工事」

- 製造・販売事業と併せた販売活動を実施
- 提携会社を増やすとともに工場建築やインフラ整備案件の受注に注力

河川での試験施工



選択と集中

「新規事業は海外へ投資を集中」

「国内事業は利益重視」

- 高付加価値サービスの拡販
- 大型物件への移行
 - 住宅着工戸数に影響されにくい体質へ
 - 大型物件に効率の良いコラムZ工法を開発
 - 改良軸の直径が従来の2倍以上ある工法

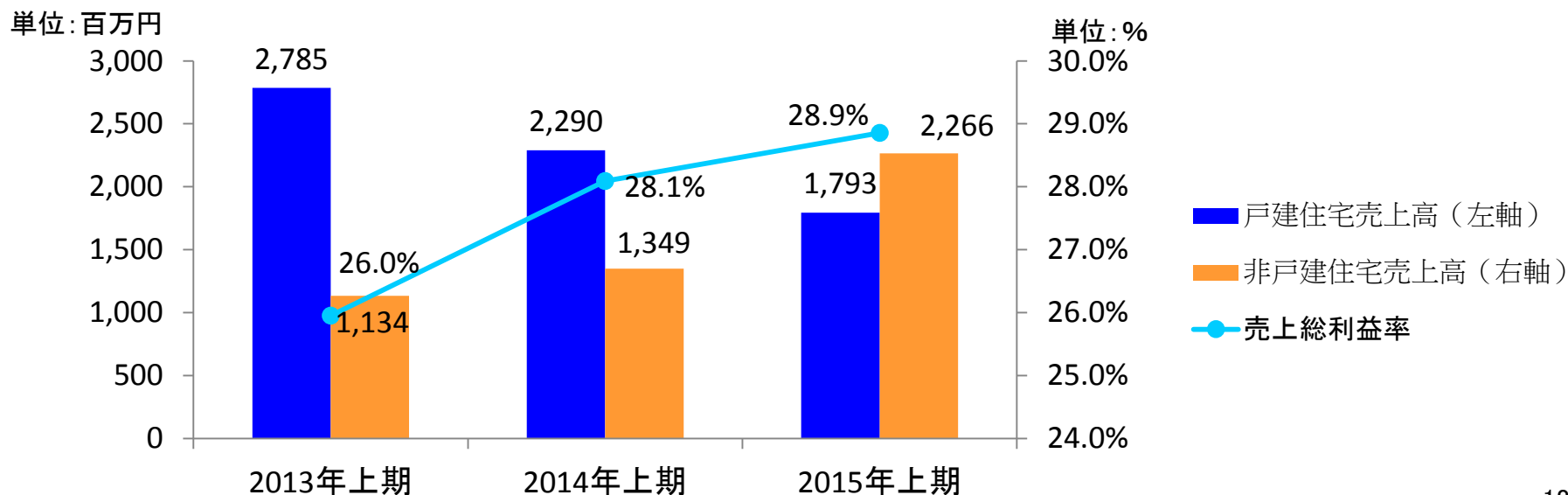
(大きさ比較)



従来の工法
直径500mm



コラムZ工法
直径1200mm



低コスト化により、戸建住宅向けボーリング調査が可能に

「地盤王ホリ・ススム」

- 精度の高い液状化判定
- 土質・水位を確認可能
- 機械化による低コスト化の実現



液状化対策・環境配慮型

「エコジオ工法」

- 自然砕石を用いる工法
- 砕石が地下水を通すため、液状化防止効果がある
- 自然砕石を用い、環境に優しく、CO2排出削減に貢献



2015年第2四半期 決算内容

1. 平成27年12月期第2四半期累計期間 (平成27年1月1日～平成27年6月30日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり当期 純利益(円)
2月16日発表予想(A)	4,642	22	7	△52	△16.19
8月11日発表予想(B)	4,558	△32	△40	△210	—
増減額(B-A)	△83	△54	△48	△158	—
増減率	△1.8%	—	—	—	—

2. 連結業績予想数値の修正の理由

(1)第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正の理由

営業利益・経常利益・当期純利益につきましては、地盤改良事業における粗利率の低下、また下記(2)にて説明の特別損失が発生したため、前回(平成27年5月15日)発表した予想数値を下回る見込みであります。

(2) 特別損失の計上について

造成地にて請負いました地盤改良工事に於きまして、固化不良による地盤の瑕疵補修工事が発生し、約204百万円の特別損失を計上致しました。

1. 特別損失が204百万円となった理由

- 固化不良の原因把握に長期間を要したことが特別損失額を大きくした理由であります。
- そして、施工範囲が広く、建物規模が大きかったことが特別損失を大きくした理由であります。

2. 今後、過去の決算への影響

- 今年(今回)のみに限った一過性のものと考えております。
- そして、今後は、本件の発生の原因を真摯に反省し、サムシンググループとして再発防止策をしっかりと立ててまいる所存でございます。

当社は、開催の取締役会において、 役員報酬の減額を決議いたしました

1. 役員報酬減額の内容

代表取締役	前 俊守	役員月額報酬の50%
常務取締役	笠原 篤	役員月額報酬の30%
常務取締役	青木 宏	役員月額報酬の30%

(社外取締役は除く)

2. 対象期間

平成27年8月より5ヵ月間

3. 減額の理由

平成27年12月期第2四半期の連結業績結果を受け、その経営上の責任を明確にするため、役員報酬を減額することといたしました。

今後は、当社グループ一丸となって収益回復に向け邁進していく所存でございます。

今後とも株主の皆様をはじめとする関係各位のご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

(単位:百万円)	2013年上期	2014年上期	2015年上期		要因
	実績	実績	実績	前年比	
売上高	4,373	4,435	4,558	2.8%	注力した高付加価値型地盤改良工法の売上高増加等による地盤改良事業の売上高増加
売上総利益	1,072	1,129	1,187	5.1%	比較的粗利率の高い工法の拡販が奏効し、売上総利益は計画比では未達であったが、前年比は上回った。
営業利益	57	△29	△32	—	国内、海外における人員増による人件費の増加
経常利益	46	△39	△40	—	
当期純利益	15	△72	△210	—	前述の特別損失(瑕疵補修損失)204百万円が影響

業績概要 セグメント別

(単位:百万円)		2013年上期	2014年上期	2015年上期		要因
	セグメント	実績	実績	実績	前年比	
売上高	地盤改良	4,170	4,225	4,335	2.6%	高付加価値型地盤改良工法や大型物件向けのボーリング調査の売上増加
	保証	91	93	84	△10.1%	住宅着工戸数の減少が影響し、地盤保証の売上高減少
	地盤システム	62	58	63	9.5%	地盤改良機械の売上高増加
	海外	—	0	35	—	2014年7月より徐々に売上が積み重ねている状況です
	その他	48	57	39	△31.0%	住宅着工戸数の減少が影響し、住宅検査の売上高減少
売上総利益	地盤改良	1,011	1,056	1,095	3.6%	比較的利益率の高いエコジオ・コラムZの売上高増加
	保証	57	62	66	6.4%	住宅完成保証の売上高増加が要因
	地盤システム	△15	△16	7	—	
	海外	0	0	△2	—	売上は定期的には上がっておりますが先行投資の影響で売上総利益は赤字となっております。
	その他	19	25	21	△17.8%	

住宅用外壁材・内壁材の製造・販売

- 大型プロジェクトが具体化しつつあり、黒字化に向けて現在注力中である。

地盤調査・改良工事

- 地盤調査は少しずつ実績を積み上げている。
- 地盤改良は省(日本の県にあたる)の案件に関する試験施工の良好な結果が出たため、今後の受注につながる様、提案を行っている段階。

連結貸借対照表

(単位:百万円)	2013年 12月末	2014年 12月末	2015年 6月末	2014年12月末 —2015年6月末 比較	要因
流動資産	3,857	3,873	3,955	+82	売上増加に伴う売掛金109百万円増加
固定資産	1,127	1,386	1,472	+85	大型物件に対応可能な地盤改良機の導入によるリース資産59百万円増加
資産合計	4,985	5,259	5,427	+168	
流動負債	2,687	2,724	3,136	+411	金融機関からの新規借入金136百万円増加と賞与引当金98百万円増加
固定負債	1,014	1,208	1,174	△33	返済により長期借入金33百万円現状
負債合計	3,701	3,932	4,310	+377	
純資産合計	1,283	1,327	1,117	△209	特別損失204百万円が影響し、利益剰余金222百万円減少

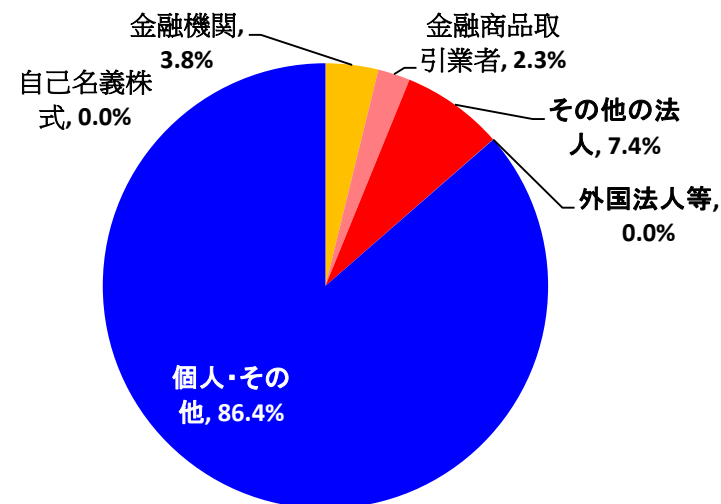
連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	2013年 6月末	2014年 6月末	2015年 6月末	前年比	要因
税金等調整前当期純利益	48	△62	△248	△186	特別損失204百万円が影響
減価償却費	104	151	172	21	工具器具備品、リース資産が増加したため、減価償却費も増加
売上債権減少額	151	228	△85	△313	売上高の増加による売掛金の増加が要因
仕入債務の減少額	△36	△281	73	354	
法人税等の支払額	△40	△108	△52	55	
営業活動によるCF	257	△55	△13	42	
定期預金の預入による支出	△3	△3	△203	△200	
有形固定資産の取得による支出	△42	△121	△72	48	工具器具備品、リース資産の購入
投資活動によるCF	△44	△162	△330	△168	
短期借入れによる現金増減	△68	72	136	64	金融機関からの新規借入に伴う増加
長期借入れによる現金増減	△16	21	4	△16	同上
ファイナンスリース債務の返済による支出	△50	△88	△116	△28	
財務活動によるCF	△211	△12	18	30	
現金同等物増減額合計	0	△230	△325	△95	
現金同等物期首残高	886	1,181	1,282	100	
現金同等物期末残高	885	949	961	12	

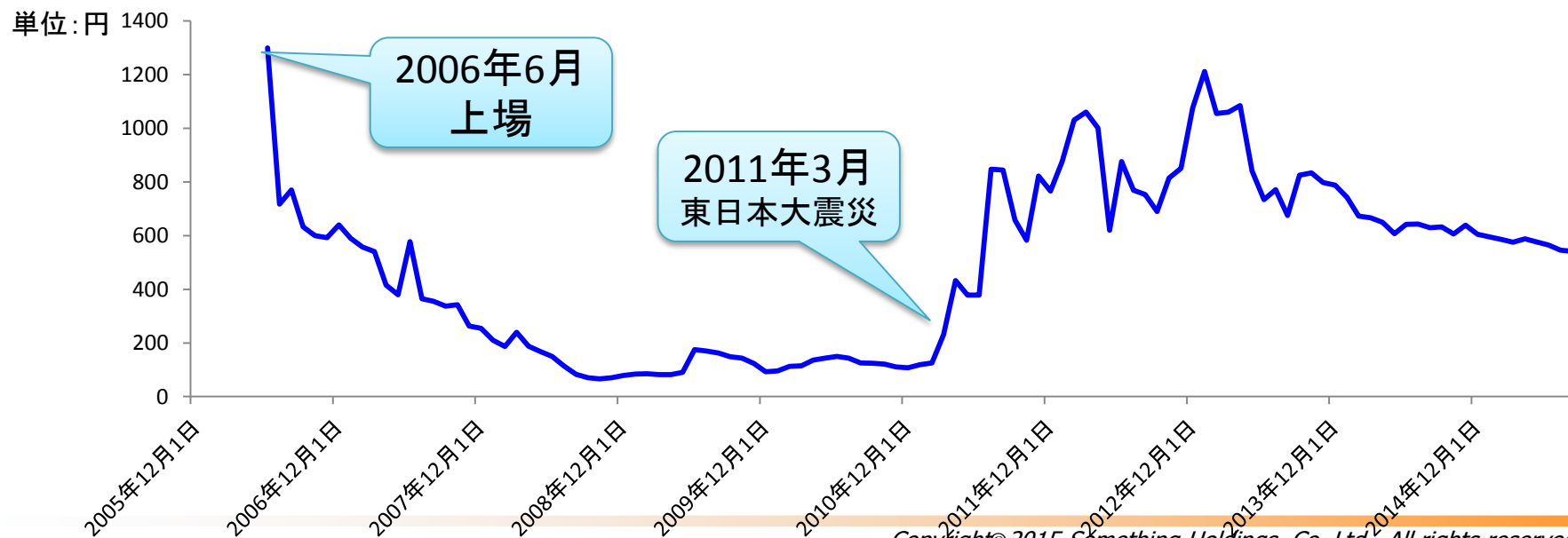
基本情報

株主確定基準日	株主総会・期末配当金 12月31日 中間配当金 6月末日
証券コード	1408
市場	JASDAQ(グロース)
1単元の株式数	100株
発行済株式数	3,226,400株
株主数	3,354人

所有者別株式数比率



株価推移 (調整後終値)



A large, semi-transparent orange 'S' graphic that serves as a background for the main title text.

2015年度計画

業績予想

(単位:百万円)	2014年度 (実績)	利益率	2015年度 (計画)	利益率	前年比
地盤改良事業	8,815		9,119		3.4%
保証事業	174		181		3.9%
地盤システム事業	136		124		△8.9%
海外事業	34		109		211.6%
その他の事業	114		92		△19.6%
売上合計	9,275		9,625		3.8%
地盤改良事業	2,271	25.8%	2,396	26.3%	5.5%
保証事業	123	70.7%	130	71.8%	5.5%
地盤システム事業	△33	△24.6%	14	10.9%	—
海外事業	△3	△8.9%	1	1.3%	—
その他の事業	47	41.8%	47	51.2%	△1.6%
売上総利益合計	2,405	25.9%	2,587	26.9%	7.6%
営業利益	164	1.8%	109	1.1%	△33.9%
経常利益	187	2.0%	90	0.9%	△51.9%
当期純利益	48	0.5%	△195	△2.0%	—

1. 大型物件への移行

- 住宅着工戸数は減少傾向にあるため、大型物件への移行を行い、着工戸数に影響されにくい体制へ

2. 粗利率改善の取り組みを継続

3. 高付加価値サービスの拡販

- 地盤王ホリ・ススム
- エコジオ工法

1. 住宅建材の製造・販売

- ベトナムでのモデルハウス竣工を起点とし、現地の大手デベロッパーへの営業を推進
- 日本の建材メーカーも視野に入れ、販売に注力

2. 地盤調査・改良工事

- 住宅用外壁材・内壁材の製造販売事業に付随し、販売を推進
- 提携会社を増やすとともに工場建築やインフラ整備案件の受注に注力

新法対応の雨水浸透・利用技術の開発

(背景) 水害により新法制定が進む

1. 雨水の利用の推進に関する法律

- 雨水利用の促進に関して国や地方公共団体等の責務明確化

2. 水循環基本法

- 政府と自治体は森林、河川、農地、都市施設などを整備

(強み) 地盤改良技術を応用可能

1. 地盤王 ホリ・ススム

2. 埋設管工法 (2014年3月特許取得)

- ドレーン材を地中に埋設可能
- 地表面の雨水を地中に浸透させることや、地下水の汲み上げに活用予定

ボーリングマシンを活用した埋設



井戸や地下水排水が可能



2014年1月

- ベトナム孫会社NIHON PANEL CO., LTD. 設立
- 株式会社サムシングにおいて、円筒体地中連行装置及びこれを用いた円筒体地中連行方法の特許を取得

2014年3月

- (株)サムシング事業本部・設計部・調査測量部においてISO/IEC27001を取得
- 株式会社サムシングにおいて、地中埋設資材埋設工法の特許を取得

2015年1月

- (株)サムシングがテレビ朝日系列「大改造!!劇的ビフォーアフター」に取材協力しました

2015年2月

- 防衛省施設課セミナーへの出展
→災害時における水源確保を目的とした簡易井戸の施工技術導入の提案

ベトナム孫会社 NIHON PANEL CO., LTD. 設立



防衛庁施設課セミナーへの出展 地中埋設資材工法と 地盤王ホリススムをPR



ご清聴ありがとうございました。

IR担当窓口

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。従いまして、将来の事業戦略・業績見通しに関する情報に全面的に依拠して、投資判断を決定することは避けるようお願いします。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

サムシングホールディングス株式会社

部署：管理本部

TEL：03-5665-0840

Mail：ir@sthd.co.jp